

日常点検項目チェックリスト

年 月 日

工事名： _____ 工事責任者： _____

施工会社： _____ 作業責任者： _____

- ・各項目のランクはTB外来工事チェックシートのランクに準ずる。
- ・グレー着色項目は災害・障害が発生するリスクが高いAランク又はBランクを示す。
- ・評価は○(良)、△(一部改善要)、×(改善要)、/(非該当)のいずれかで記入する。

TBテクノグリーン安全推進本部 Ver.20221124

分類	ランク	チェック項目	評価	分類	ランク	チェック項目	評価
一般	区画	C	作業場所はカラーコーン+バー等で隙間無く区画されているか。	STOP6	墜転落	A	高所作業では安全な作業床が設けてあるか(床材間隙3cm以下、高さ90cm以上手摺+中棧、建地との隙間12cm以下)。
		C	区画への出入口は設定されているか。			A	高所作業で安全な作業床が設置できない場合は親綱・安全ネット等が設置され墜落制止用器具を正しく使用しているか。
	養生	C	作業場所や周辺は適切に養生されているか。不足は無いか。			C	高所作業では「高所作業中」の垂れ幕(赤地白文字・社名入)が掲示してあるか。
		C	養生は飛散や移動してしまう恐れは無いか。			A	開口部・ピット等に手摺・覆い等が設けられ、立入禁止措置・表示がされているか。
	2S 4S	C	作業場所は整理・整頓され、作業通路等が確保されているか。			B	足場の組立完了時点検、使用前の日常点検は実施されているか。
		B	作業に使う資材・工具等は置場を決めて整理・整頓して置いてあるか。荷崩れ等の恐れは無いか。			A	高所作業車床上では墜落制止用器具を使用しているか。手摺への足掛け等は無いか。
	作業責任者	A	作業責任者は有資格者が従事し、必要な資格証(作責・高所・感電)を所持しているか。			B	高所作業車を離れる際はキーを抜いているか。
		B	作業責任者は腕章を着用し、検電器を所持しているか。検電器は動作するか。			A	感電の恐れが有る工事でロックアウト(動力遮断)を実施しているか。
		A	作業責任者は直接監督指揮できる単位作業場ごと(参考:柱1スパン四方)に常駐しているか。		A	電気取扱作業者は検電器で停電を確認して作業しているか。	
	作業員	A	必要な資格者は配置され、資格証(免許・技能講習・特別教育)を所持しているか。		B	電動工具・機器等は1回/6ヶ月ごとに点検し、点検済シールを貼ってあるか(1月~6月:青、7月~12月:橙)。	
保護具 服装	B	必要な保護具(墜落制止用器具・メガネ・ヘルメット・手袋等)が正しく装着されているか。	高熱物	A	火を使う作業の手元に消火器(ABC10型2本以上)、水バケツ(2個)、防火シートが備えてあるか。		
	C	作業に適した作業着を正しく着ているか。半袖・半ズボン・腕まくり・ボタン外れ等は無いか。		C	「火気使用中」の垂れ幕は通行人から見やすい位置に掲示してあるか。		
車両	B	駐車する場合はキーを抜き、サイドブレーキをかけ、運転席側前輪に輪止めを行っているか。	車両	B	運転者離席時には作業装置を地上に降ろし、エンジンを停止させ、サイドブレーキを引き、キーを抜いているか。		
全般	C	工事管理板は作業区画の出入口等の見やすい位置に掲示されているか。		B	荷役系車両の作業開始前前点検が実施され、記録が有るか。		
	C	各書類が不足なく工事管理板の正しい位置に収納されているか。	挟まれ 巻込まれ	A	設備内作業では動力源を「切」にし、安全プラグを抜き・携帯し、ロックアウトを全員で行っているか。		
	C	各書類は(全豊田構内作業基準、TB外来工事作業要領等も含めて)最新版か。		A	施錠後は各自で錠前のキーを携帯しているか(置き放しになっていないか)。		
工事看板	C	工事責任者・作業責任者は現場と一致しているか(代理等の場合は追記しているか)。	環境	水質汚濁	C	工事で発生した排水が雨水側溝等に流入しないように対策しているか。	
指示書 KY	C	作業責任者サイン(フルネーム)は有るか。		土壌汚染	C	持ち込み車両・機器等からの油漏れはないか。万一に備え、吸着マット等の準備はしているか。	
	C	体温の記録は有るか。		化学物質	C	降雨中又は降雨が予想される場合は屋外の塗装・接着等の作業を中止しているか。	
	C	作業員のサイン数と名簿の人数は一致するか。			C	路面・床面を塗装する場合は塗装面の材質を確認し、地下浸透しない材料を選択しているか。	
	C	RAで抽出した重点リスク・危険ポイントはKY出来ているか。			C	容器の蓋は閉まっており、転倒しないような配慮がされているか。	
	C	KYは4R法で出来ているか。		その他全般			
B	ロックアウト記録は正しくされているか(作責含む全員の記録が有るか)。						
作業員 名簿	C	区分・氏名・年齢・労災番号・資格等が漏れ無く記入されているか。					
	C	作業責任者は◎で記入されているか。					
	C	労災番号は事業の種類や雇用形態に応じた正しい番号が記入されているか。					
	C	労災保険の写しは有るか(名簿記載の番号が確認できるか)。					
	C	必要な資格者は配置されているか。					
許可証	C	客先立会者のサインは有るか。					
チェック シート	C	必要事項がチェックされているか。					
	C	作業責任者のサインは有るか。					
	C	客先立会者のサインは有るか。					
	C	各項目のチェックするタイミングは適切か(工事終了分までチェックしていないか等)。					
保護メガネ	C	必要に応じて保護メガネ判断書が作成され、客先立会者のサインが有るか。					
車両系機械	C	必要に応じて計画書が作成され、対象車種すべての計画書が有るか。	良い 事例				
5TBM	C	適切なタイミングで実施・記録されているか。					
	C	実施した時間は記録されているか。					
	B	変化点では作業を一旦止め、TBMを実施し、記録しているか。					